

## 蒲生干潟の地形調査②⑦

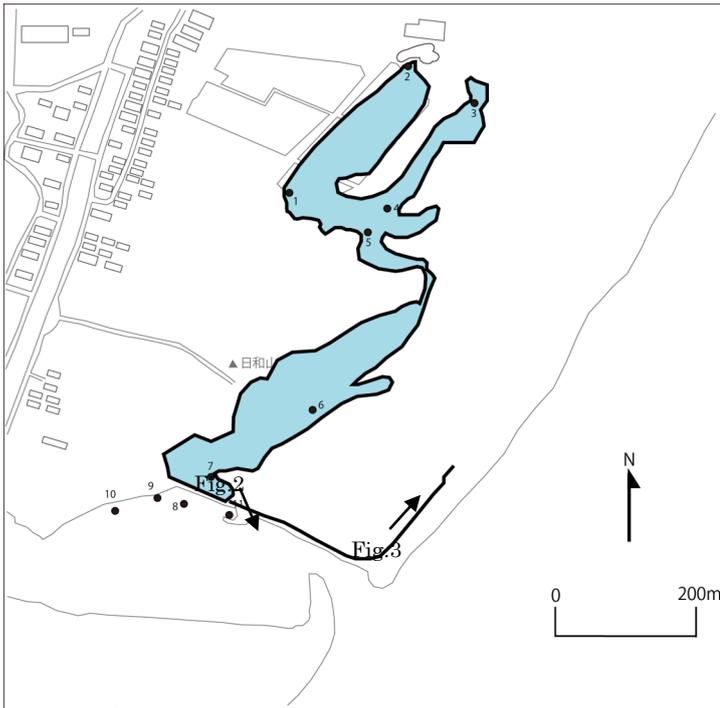


Fig.1 GPSによる簡易測量結果



Fig.2 拡大した河口付近（西側より撮影）



Fig.3 海岸線の侵食による崖（南側より撮影）

Table.1 塩分濃度

	8月22日	9月14日	増減
ST.1	2.3	2.3	0.0
ST.2	2.0	2.2	0.2
ST.3	1.6	2.1	0.6
ST.4	2.2	2.2	0.0
ST.5	※	2.2	※
ST.6	2.2	1.9	-0.3
ST.7	2.2	2.0	-0.2
ST.8	1.9	※	※
ST.9	0.6	※	※
ST.10	※	※	※
ST.11	※	1.0	※

調査日 2017年9月14日（木）10：00～11：30 ※満潮時刻10：29（潮位116cm）

満潮の時間帯に調査を行った。潟湖の水位は全体的に低くなっており、ところどころ干上がっていた。Fig.1からわかるように中央部分が大きくくびれた形になっていた。

塩分濃度調査 (Table.1)では潟湖の北側の塩分が高く、通水部分に近い南側が低い値となっていた。

8月の調査で通水部分南側に広がっていた砂州はすっかりなくなっていた。また右岸側の砂州も大きく侵食されており、河口が大きく広がっていた。

海岸線では侵食による崖 (Fig.3)が形成されておりその高さは30cmほどであった。

（中田 晋）